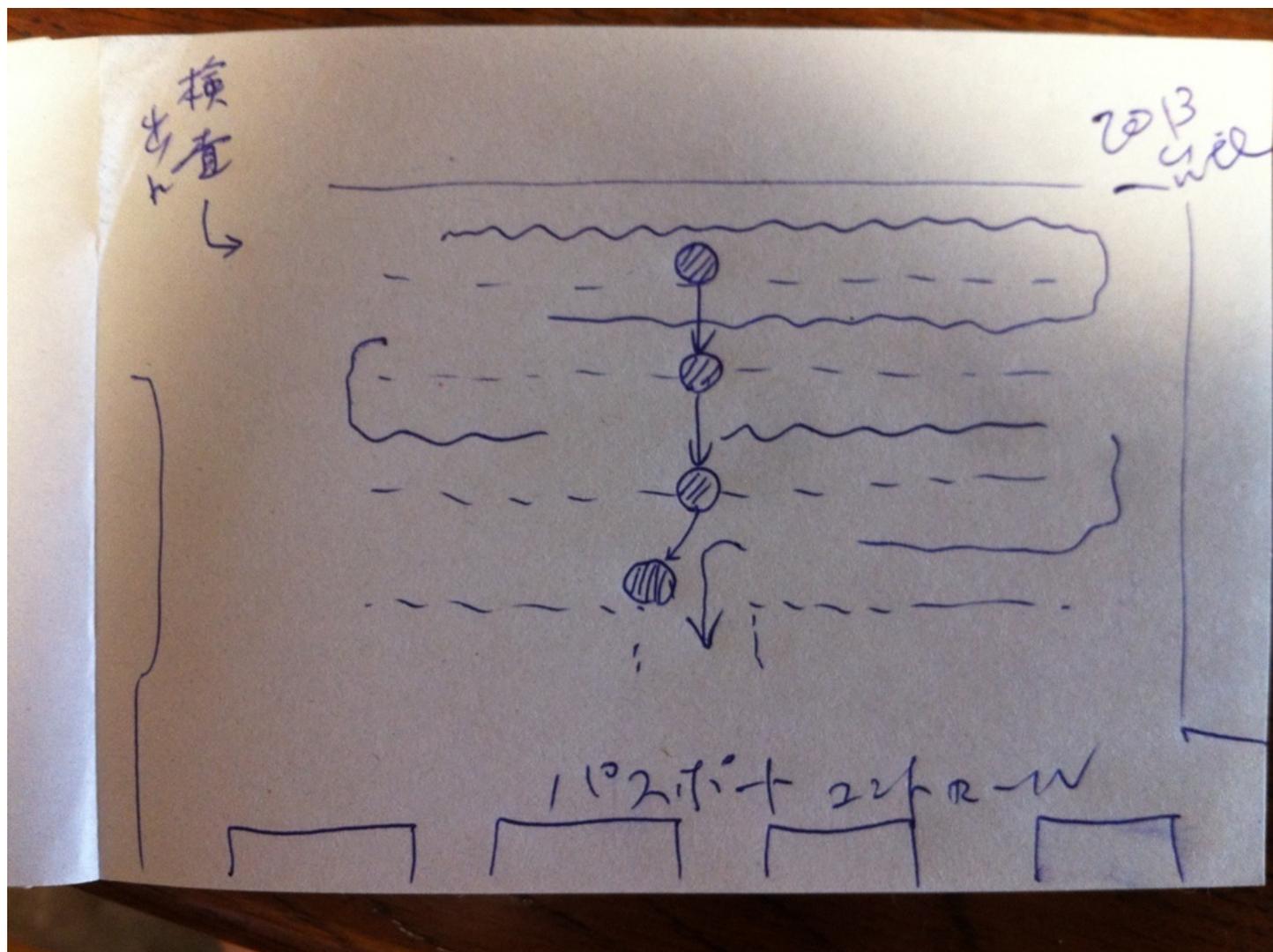


その他の世界

sogatakuji



2013年6月末、台北から東京へと向かう途中、台北の桃園国際空港にて、ソレに遭遇した。
手荷物検査後、パスポートコントロールまでの間、かなりの長蛇の列で、その日の朝早起きだった僕は正直並ぶのもしんどかったのであるが、（確か）6列くらい並んでいて（手書きのメモ画像参照）、人間と一緒にとある黒いボストンバックも移動していたのだ。
って、もともと言葉に定義しにくいものをまとめた本なので、矛盾が生じ、なかなか言い表せないのだが、

要は誰かの忘れ物（空港で荷物置き忘れるなよ！）である黒いボストンバックが、これまた誰か（優しそうなお白人女性だったが）が丁寧に係員に届け出ようと運んでいたのだ。
僕が惹かれたのは、この女性が、このボストンバックを見つけて、すぐ近くの係員を呼んで、といったごく普通の行動はとらずに、半ば周りの人たちとその行為を楽しむように（実際皆で笑いながら運んでいた）、荷物をじわじわとパスポートコントロール付近まで運んでいたのだ。
これが人間であれば完全に割り込み行為である。しかもこの長蛇の列の中、もしこんな割り込み行為をしている人がいたら、たとえ誰であったとしても皆が怒り狂ったであろうという長い長い列の中・・・

結局、笑いながら様々な国籍の人たちに囲まれて無事係員に届けられた黒いボストンバック。
それが持ち主の元に無事届いたかは、知らない・・・